Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter 2019▶2020

ロータリーは
世界をつなぐ

ガッシュ、ガッシュ、ガッシュ・・・

朔北の広大な大地を疾走するSLにも似て、

我もまた人々を率いて、この地を走り続けたい。

Vol.02
ガバナー月信
2019.8.1

Rotary

―― 地区活動方針 ――

「知らずて語れず！」

CONTENTS

ガバナーメッセージ …… 1
会員増強について …… 2
会員増強メッセージ …… 3
女性活躍推進委員会メッセージ …… 4
委員会開催報告 …… 5
地区補助金申請会議を終えて …… 7
国際大会に参加して …… 8
ガバナー公式訪問レポート …… 10
ロータリー平和センターセミナー出席報告 …… 12
米山奨学生レポート …… 13
ハイライトよねやま …… 15
コーディネーターＮＥＷＳ …… 17
新入会員・ロータリー財団寄付者・物故会員 …… 18
地区大会ご案内

表紙説明：盛夏の８月号のイメージ画像として「ＳＬ 冬の湿原号」と思いでしょうが、新ガバナー体制となり、各クラブ会長・幹事の皆様にリーダーとして求められている「力強さ、牽引力」を表現したく、敢えて季節外れな写真を選ばせていただきました。

表紙写真：撮影者　小野寺　俊（釧路ロータリークラブ）

ガバナーメッセージ

2019−2020年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉　田　潤　司
（釧路ロータリークラブ）

2500地区会員皆様こんにちは。

このガバナー月信８月号が皆様の目に触れる頃は、私の年度が１ヶ月経過し、公式訪問の約30％程度が終了したころと思います。多くのクラブを訪問し、新しい発見をし、クラブが特色をもって活動していることに喜びを感じているのに違いありません。

さて国際ロータリー理事会は、7月以外の月にロータリー活動参加を強調するためロータリー特別月間を指定しており、8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」となっております。2015年7月１日からこの名称に変更され、従来は「会員増強拡大月間」でした。2500地区の会員数は、この10年2250人前後で、大きな増減はなく横ばい状況です。

日本の現状ですが、会員数が30人未満のクラブが全体の40％（2500地区は50％弱）を占め、60歳以上の会員数とクラブ在籍年数10年以上の会員がどちらも50％を超えています。

これらは、新入会員の短期間での退会、弱年者の入会が少ないことを証明しています。

さて我々の2500地区は、いかがでしょうか？

地区の現状は、

総会員数	内女性会員	在　籍　年　数				
2282名	108名	3年未満	4 ～10年	11～20年	21～30年	30年以上
		27％	25％	21％	16％	11％
		616名	570名	480名	365名	251名

2500地区の会員動向

年　度	2010-11	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18	2018-19
会員数	2246	2211	2177	2188	2198	2221	2258	2282	2271

（７月１日現在）

この10年間の平均会員数は2228名です。ほとんど横ばいです。

仮に、退会した人が毎年20名残っていれば、平均会員数は2400人を超えていました。残念なことです。

これこそがマローニー会長が言う「穴の開いたバケツに水を注ぐ結果」かもしれません。

会員を増強することと、退会者を防止することが、会員増強ではないでしょうか。

会員増強のための一番のカギは、会長幹事の増強に対する思いと言われています。

例会時、短時間で結構です。会員増強の話を必ずするようにお願いいたします。

会員増強について

国際ロータリー第2500地区ガバナー
吉　田　潤　司
（釧路ロータリークラブ）

会員増強で
「誰かクラブに入る人いないか？探して！」
「今年は純増１名で行こう！」
クラブに入った新人に
「すぐに慣れるよ」
皆様のクラブは、このようなことを言っているクラブではありませんか

４月に東京で会員基盤向上セミナーがありました。大変有意義なセミナーでしたが、その中で記憶に残った講演内容をお知らせします。

講師は伝説の会長と言われている2015－16年度高崎ロータリークラブ会長田中氏で、後のガバナーですが、田中氏はその年度に51名の会員増強をしました。その時の経験をもとに会員増強の話をされ、拝聴し「ああ、こういう方法もあるのか」と感心しました。会員増強に悩んでいる皆様にその時の内容をお話しします。ぜひ参考にしてみてください。

最近は多くの団体があり、活動内容もみなそれぞれ特色を持ち、いわば会員の取り合いの状況でロータリーの優位性は昔ほどではなくなっているかもしれません。

田中氏は、まず自分のクラブの特色は何かを見極め、クラブの長期計画目標を立て、どのような特色あるクラブにしようかと会員みんなで話し合いました。次にいよいよ増強活動に取り組みスタートしました。まず会員各々が入会候補者を10人以上書き出し、それを整理することで候補者を決める。その後どの候補者から勧誘するかを決める。ここまでが初めの作業です。次に第一候補者に数名の会員で入会を勧めます。たぶん最初は断られるでしょう。そうしたら次の数名の会員がまた同じように入会を勧める。これを繰り返すことで、入会候補者は「そんなにたくさんの人が私を望んでいるのか」と入会を断っていた気持ちが変わっていきます。結局根気比べです。このようにして、田中氏は１年で51名の増強をしました。

田中氏は「増強は待っていてはできない。攻めることが増強のキーポイント」と言いました。また一人で勧めても断られることが多い。複数の人で、交代で次から次へと波状攻撃のごとく勧誘する。クラブの特色・奉仕事業内容・数年後のクラブの姿等をきちんと話をすることも大事ですとも述べられました。

いかがでしょうか？実にアクティブな増強活動です。

皆様のクラブには当然それぞれに増強計画方針等があります。増強の壁にぶつかったら、田中氏が行った増強方法も検討に十分値するものであると思います。

会員増強メッセージ

会員増強委員会
委員長 東海林　　勉
（遠軽ロータリークラブ）

会員増強とは、仲間を増やすこと、会員維持、退会防止、です。

新年度を迎えて１ヶ月が過ぎましたが、皆様のクラブでも多くの新会員を迎えスタートされたことと存じます。

８月は会員増強月間ですが、年度を通し、折に触れ会員増強に関する情報を発信していきたいと考えています。今回は、新会員のオリエンテーションについて。

新会員には、各クラブでロータリークラブとはどのようなものか独自に用意・制作した「新会員へのオリエンテーション」のプログラムがあり、担当委員会、あるいは先輩会員が指導していることと思います。

＊新会員オリエンテーション

対象は入会して３ヶ月までの会員で、１回目はできるだけ早く開催した方が良いと思います。地区大会前が理想的です。年度内に複数回開催できれば良いと思います。

昔から「習うより慣れろ」と云われていますが、ロータリーのイロハを知る機会、文字通り「行き先」をオリエント（方向づける）するという非常に簡単なガイダンスのようなものでよろしいでしょう。プログラム内容は、例えば；

第一部　１．ロータリーの基礎知識
　　２．こころに残る「ロータリー体験」：先輩会員の体験談など
　　３．ロータリーを知る資料・例会メーキャップ

第二部　１．懇親会（茶話会、飲みニケーション）、雑談・記念写真
　　２．配布物・年度のテーマバッジ、ポリオ撲滅チラシ、米山豆辞典、等々
　　・ロータリーの出版物（小冊子類）
　　・感想用紙（アンケート等）

ロータリーの一番大切な財産は会員です。新会員はクラブにとって「宝」です。クラブの行き先を担う大事な人材です。早い内にロータリーに良い印象をもっていただいて、息の長い会員になっていただきましょう。

今年度、吉田潤司ガバナーの発案・監修により、地区の会員増強リーフレットを制作しました。公式訪問例会時、吉田潤司ガバナーが各クラブに配布しております。

是非、皆様のクラブで有効にご活用下さい。

令和元年、吉田潤司ガバナーの熱意で 2500地区に誕生した女性活躍推進委員会！

女性活躍推進委員会
委員長 渡　辺　喜代美
（帯広ロータリークラブ）

新年度がスタートし、2500地区67クラブ会員の皆さんもそれぞれの新たな役職につかれてお忙しいこととお察し申し上げます。当委員会「女性活躍推進委員会」は、今年度初めて2500地区に誕生した委員会です。

2500地区は2019年５月31日現在会員2,271名中女性会員101名で4,45％、女性会員０クラブは28クラブ、42,8％となっています。この現状を受けて、今年度当委員会は女性会員０クラブの現状分析並びに各クラブに在籍されている女性会員のロータリー理解と親睦を推進したいと考えています。それぞれのクラブは、その誕生と環境が異なっています。その地域にならではの会員拡大の歴史があり、ロータリークラブは地域になくてはならない存在として活動を展開してきていると思います。このロータリーの活動をさらに、時代を見据え次世代につないでいくために何が必要なのか、ともに知恵を絞り、ともに活動していきたいと考えています。

今年６月に「女性活躍推進法」が改正されました。改正法の詳細内容については、今後厚生労働省のホームページ等で示されると思いますが、私たちロータリアンも国の流れを受けとめ、現行のクラブにおける女性活躍の現状を今一度確認する必要があると思います。

①　クラブにおける女性の活躍に関する状況の把握と課題分析
②　女性会員の入会目標数の設定と取り組み方法についての情報開示
③　数値目標の達成状況と実施状況の点検と評価

上記の内容について、地区としては各クラブから提出される会員数推移を通して把握することができますが、さらに積極的な取り組みを各クラブの会長・幹事、担当委員長にお願いしたいと思います。

世界はもちろんですが、国内においても女性の社会進出による地域の活性化を推進しています。地域で活躍する女性がロータリー活動を通して、さらに活動しやすくなるよう環境整備を図り、地域の発展、地域経済の発展に寄与できるよう委員会一丸となって吉田ガバナーのもと一年間努力していきたいと思っています。

2019－20年度国際ロータリー会長マーク・ダニエル・マローニー氏は、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマの下、ロータリーの奉仕を通じて、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすためにつながりを築いてまいりましょうと私たちにメッセージされました。どうぞ皆様のご協力よろしくお願いします。

◆委　員　佐野弥奈美（中標津）
本間　明美（釧路北）
小田　　剛（帯　広）
佐藤　和彦（釧路西）

◆2018－19年度第６分区女性会員の夕べ
（2018－19年度帯広南ロータリークラブ小田会長を囲み一年間の活躍を祝い各クラブの女性会員に出席いただき交流会を開催しました。）

委員会開催報告

◆地区補助金小委員会

令和元年６月22日㈯　15：00～17：30
会場：釧路センチュリーキャッスルホテル

吉田潤司ガバナーエレクトの挨拶、鶴見誠一郎地区補助金小委員長からの新任挨拶の後、各クラブ及び地区から申請済みの申請書類及びMOUの確認をし、個別案件の審査を行った。

◆地区補助金申請会議

令和元年６月23日㈰　10：00～12：00
会場：釧路センチュリーキャッスルホテル

細川吉博ガバナーの挨拶に続き、笹谷芳夫財団委員長よりオンライン申請について説明が行われました。

その後、個別案件ごとに最終審査・確認が行われ、吉田潤司ガバナーエレクト、笹谷芳夫財団委員長、長倉巨樹彦財団副委員長の３名によりオンライン申請がなされました。

◆第３回　ガバナー補佐研修会議

令和元年７月６日㈯　15：00～16：30　会場：釧路センチュリーキャッスルホテル

〈議題〉

1．ガバナー現況報告ならびにガバナー会議報告
2．標準ロータリー定款の変更について
　　小船井修一地区研修委員長より
3．地区事務所について
4．次年度PETS、地区研修・協議会日程について
5．地区行事予定について
　・ライラセミナーについて
　・地区大会について（スケジュール変更・地区指導者育成セミナー・講演講師など）
6．地区規則案作成スケジュールについて
7．ＲＬＩ研修について
　　葭本正美ＲＬＩ導入準備委員長より
8．地区補助金配分について
9．「ロータリーの友」への協力のお願い
10．今後の地区スケジュールについて
　・公式訪問　７月10日㈬　帯広ＲＣ～10月３日㈭　釧路ＲＣ
11．その他
　・Ｅクラブよりインターアクトクラブ設立希望について

委員会開催報告

◆第１回　地区ロータリー戦略計画委員会

令和元年７月６日㈯　16：30 ～ 17：00　会場：釧路センチュリーキャッスルホテル

〈議題〉

１．地区事務所について
２．次年度ＰＥＴＳ、地区研修・協議会日程について
３．地区規則案作成スケジュールについて
４．ＲＬＩ研修について

◆第１回　諮問委員会

令和元年７月６日㈯　17：00 ～ 18：00　会場：釧路センチュリーキャッスルホテル

〈議題〉

１．ガバナー現況報告ならびにガバナー会議報告
２．標準ロータリー定款の変更について
　　小船井修一地区研修委員長より
３．地区事務所について
４．次年度ＰＥＴＳ、地区研修・協議会日程について
５．地区行事予定について
　・ライラセミナーについて
　・地区大会について（スケジュール変更・地区指導者育成セミナー・講演講師など）
６．地区規則案作成スケジュールについて
７．ＲＬＩ研修について
　　葭本正美ＲＬＩ導入準備委員長
８．地区補助金配分について
９．今後の地区スケジュールについて
　・公式訪問　７月10日㈬　帯広ＲＣ～10月３日㈭　釧路ＲＣ
10．その他
　・地区ガバナー会収支の件
　・地区ガバナー会退会の件
　・Ｅクラブよりインターアクトクラブ設立希望

地区補助金申請会議を終えて

地区補助金小委員会
委員長 **鶴　見　誠一郎**
（紋別港ロータリークラブ）

当2500地区におきまして、2019－2020年度の実施に向けた地区補助金事業を対象とする①地区補助金小委員会ならびに②地区補助金申請会議とオンライン申請が、①2019年６月22日と②同23日の両日釧路市においてそれぞれ行われました。

同年度実施分では、78,387ＵＳＤの限度額に対して地区事業数１、クラブ事業数２２で配分を協議、決定させていただく運びとなりました。ＤＤＦの増額が背景にあることから、今回より地区補助金の申請限度額の増額、申請件数の増加、申請総事業費の高額化へとつながったように感じた次第です。申請内容を拝見させていただきますと、どのクラブ様も真剣に企画立案され取り組まれていることがうかがえました。担当の私といたしましてはたいへんありがたく感じ、当小委員会の役目は各クラブ（一部、当地区委員会）様のご意向に沿いつつ、私心を入れず、慎重に、かつ、公平に協議していかなくてはならないという強い使命感に似た意を改めて抱いたわけです。

すでにご存じかと思いますが、地区補助金を利用した事業を行なう場合、予定クラブ様は前年度11月の補助金管理セミナーへ出席→同３月末日までＭＯＵ（事業実施に関する取決の覚書）を提出→同５月末日まで申請書類を提出という流れでご対応いただきます。

ここで１日目の①を迎えます。主にＭＯＵのご提出状況、申請事業内容の適正、物品寄贈の概念、ロータリー公共性イメージ向上への貢献度などが再確認され協議されます。申し上げにくいのですが、残念な点としましては「地区補助金ガイドブック」の内容をよく確認されず規定に沿っておられない記載の申請書類が目立っていたことです。お金に関することであり、規定なども複雑であったがゆえに今年度運用開始に向けて作成、ホームページへの掲載、関連セミナーでの配布や告知をさせていただいておりましたが、認知度の面で課題を残す結果となりました。私が反省すべきだと考えております。早急に改善策を検討し何らかのアクションに移さなくてはなりません。

同委員会ではかなり活発な意見が飛び交い相当濃い内容の会議となりました。本来は、規定で認められる最大配分率をどのクラブ様にも適用したい想いは山々です。しかしながら、限られた枠のなかで偏らずにさまざまな角度から考える必要があります。その結果、クラブ様で期待されておられた額をなかなか配分しきれないのも事実であり、また、現状でもあるのです。難しいとは思いますが、地区補助金の配分率の結果に大きく左右されない事業の組み立て、検討を今一度お願いしたいと存じます。

続いて2日目の②を迎えます。ここではまず、前日の①で協議された内容を流れに沿って再度慎重に確認していきます。①の会議内で協議項目に漏れはなかったか、追加で協議する項目が生じていないか、配分決定額の算出方法にミスはないか等々、相当の時間をかけます。

ここまで確認できましたら、オンラインでロータリー財団に申請を行ないます。地区補助金申請サイト（仮称）へ当地区すべての事業内容や配分額を入力したものについて改めて申請ごと一つずつ確認していきます。クラブ名、新規事業か継続事業か（回数を含む）、事業内容、配分額などを読み上げて入力済みの内容と照合していきます。

ここまで進みましたら、吉田ガバナーエレクト、笹谷財団委員長、長倉財団副委員長の３名の承認登録が行なわれ、慎重に慎重を重ねた会議と申請業務は全て完了となります。最後に、本件にご協力いただきましたすべての方へ心より感謝申し上げ、報告とさせていただきます。

国際大会に参加して

国際ロータリー第2500地区　副ガバナー
細　川　吉　博
（帯広北ロータリークラブ）

６月１日から５日まで、ドイツ・ハンブルクにて開催された国際大会に参加してきました。同じ帯広北クラブの荒木樹会員が、オンツーハンブルク委員長として多くの地区内メンバーに呼びかけてくださり、38名に参加していただきました。私は、自身の帯広北クラブのメンバー11名と、５月31日に成田からフィンランド航空にてヘルシンキ経由でハンブルク入りしました。現地で富良野クラブの４名と合流して行動を共にしました。

ハンブルクの天候は最高気温15℃程度と聞いていましたが、期間中30℃近くまで気温が上がり汗ばむ陽気でした。ホテルは空港の近くで中心街からは車で20分ほどかかりますが、周辺は森林を利用した市民の憩いとなる公園が整備され、静かで素晴らしい環境でした。街全体に緑が多く、シャクナゲが各所で咲き誇っている季節でした。街の中心部にはロータリーの旗が立ち並び、サイネージでも紹介されていました。港に停泊している帆船の帆もロータリーのテーマに変えられていて、さすがに国際大会だなという実感が湧きました。世界中から約25,000人、そのうち日本人は約3,000人来ているとのことで、街中がロータリアンで溢れているようでした。

巨大な会議場（メッセ）にて大会が行われ、６月２日の本会議では、会場内でFMラジオを購入して、日本語の同時通訳を聞くことができました。ステージではバリーラシン会長などのユーモア溢れる話、シンガーによるコンサートや即興で絵を描く画家の登場、ドイツ民謡をアレンジしたダンスパフォーマンスなどがあり、予定の２時間があっという間に過ぎました。友愛の家では世界中の店舗や団体が出展しており、ロータリーグッズの販売やパネル展示がありました。また飲食コーナーも多数作られており、ドイツの代名詞ともいえるビールを美味しくいただきました。（私も１杯だけ）

その日の夜は、ホテルにて「2500地区ナイト」を行いました。ビールはもちろんワイン、ドイツ料理などを囲んで、38名の皆さんと楽しい宵を過ごしました。

翌３日、同行したメンバーはツアーに行かれ、北ドイツを満喫されたようです。私は今回アーチ・クランプ・ソサエティの入会式がメッセにてありました。会場ではロータリー財団のレガ

シー・フォーラムが行われており、アーチ・クランプのメンバーはもちろん、遺贈会員やメジャー・ドナーなど多くの人で会場は埋めつくされていました。Brenda Cressy議長、ゲイリーC、K、ホァン管理委員長の挨拶があり、さらには財団の活動報告や、世界平和フェローによる活動の報告がありました。その後ジョン・ヒューゴ事務総長に一人一人（もしくは夫妻で）呼ばれて登壇し、賞状を受け記念撮影をしました。今回は24名がこの場にて入会しましたが、残念なことに日本人は私一人でした。他には韓国が４名、台湾が１名、香港１名で多くは欧米の方でしたが、ブラジルの方が２名いらっしゃいまして、いずれも日系人の方でした。その一人と話しましたが日系２世の方で、普通の日本語を話されていましたので嬉しく思いました。

夜は、聖ミヒャエル教会にてパイプオルガンのコンサートがあるとのことで、申し込みました。17時30分開始とのことでしたが、メッセでのイベントが終了したのは17時15分。慌ててタクシーで移動しましたが、教会の前にはテントでできたウエイティング バーがあり、中で皆が歓談していて実際は19時からの開始でした。教会内は満員で、音色の違う３台のオルガンによるバッハから現代曲までの演奏は、とても素晴らしいものでした。

翌４日はハンブルグ近郊のリューベックへのツアーに参加しました。世界遺産に指定されている旧市街は、石畳とレンガを使った独特な建築物が調和した観光地で、とても落ち着いた雰囲気の街並みでした。

北ドイツは日本人にも馴染める場所だと思います。ただ食べ物は名物なのかジャガイモが多く、多くの料理に出てきてかなり飽きました。ビールは種類が豊富で美味しくいただきました。決してぬるいということはありませんので安心してください。（ぬるいのはギネスぐらいでしょうか）

ホテルはアメリカンタイプの部屋で居心地は良かったのですが、部屋にクーラーが備わってなく、この期間中気温が高く湿度もあり、連日蒸し暑い夜を過ごしました。

ハンブルクでの５日間は思い出深い経験になりました。国際大会に参加することでロータリーがいかなるものか、その広がり、大きさを実感しました。どうか来年のホノルル、その後の台北、ヒューストンとみなさんも是非、参加されてみてください。素晴らしい時間を経験しましょう。

ガバナー公式訪問レポート

第６分区　帯広ロータリークラブ

訪問日　2019年7月10日㈬
会　場　ホテル日航ノースランド帯広
　　会長：小沢　昌博　幹事：飛岡　抗

クラブ自慢

吉田ガバナーがご指摘の通り、会員増強が帯広ロータリークラブの自慢と私はご紹介いたします。

まず、何人か新入会員候補を選別します。これは、他クラブへも候補となりますから水面下で個人攻撃、更に入会対象者のお取引がクラブ内でおれば探し、その仲間と一緒にこのような職業奉仕活動もあると言うことを自然と学ばせるようになっております。

更に帯広ロータリークラブには、毎日地元紙に掲載されている有名な人と社会奉仕活動で友情の輪ができ、仕事の成果貢献なることが最大の特徴だと考えます。

（幹事　飛岡　抗 記）

帯広ロータリークラブは1935年に日本で16番目、北海道では５番目、第2500地区で２番目に創立され、十勝管内では最大規模のクラブになります。

本年度、小沢会長は「すべてに感謝」をクラブのテーマに掲げられ会員相互の親睦、ポリオウイルス撲滅、ロータリークラブの認知度向上、会員増強・退会防止取り組み、ロータリー財団への協力、米山記念奨学会への協力の目標を立てられロータリーの目的、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しクラブの運営につとめると語られました。

また、クラブ協議会と例会を通し、小沢会長のテーマと目標を各委員会が理解しそれぞれの担いを全うする意気込みから伝統のあるクラブと感じられました。お忙しい中温かく迎えて頂き感謝申し上げます。ありがとうございました。

（随行者：2500地区副幹事　村上　祐二 記）

第６分区　清水ロータリークラブ

訪問日　2019年7月11日㈭
会　場　ハーモニープラザ多目的ホール
　　会長：藤井　宏　幹事：上田　充代

クラブ自慢

今年度は、創立以来初めて会員数20名を割ってのスタートなりました。会員数が減少する中、組織構成の見直しを一昨年度実施しましたが、更に７名もの会員減があり、各委員会構成も一層厳しい状況となっております。そのような中において、今年度も奉仕プロジェクト委員会、公共イメージ委員会を中心に

①環境問題の取組み　②障害者児振興会「ともに園」の協力による例会場設営　③福祉施設訪問及びタオルの寄贈　④交通安全キャンペーンの取組みを進めてまいります。

（会長　藤井　宏 記）

1989年に日本で初めて女性ロータリアンが入会されたのが清水ＲＣであります。本年度の幹事も女性会員で、現在会員数18名中２名の女性会員がご活躍されております。

清水ＲＣ創立以来、初めて会員が20名を割ってのスタートとなる事に強い危機感を持ち、会員増強を第一に取り組むことが最重要であるとの考えから「組織的な取り組みによる会員増強」を中心とし「地区補助金の活用」、「my Rotry」への登録に伴う情報の活用により、ＲＣへの理解を深める」、「夜間例会等の活用により、出席率の向上と親睦をより深める」事を目標に掲げ活動されております。また、本年度も障害者児振興会「ともに園」の協力を得ながら例会の設営を行う等、クラブの独自性を感じさせて頂きました。お忙しい中温かく迎えて頂きありがとうございました。

（随行者：2500地区副幹事　村上　祐二 記）

ガバナー公式訪問レポート

第３分区　富良野ロータリークラブ

訪問日　2019年7月11日㈭
会　場　新富良野プリンスホテル
　　会長：軽米　達也　幹事：櫻木　裕行

クラブ自慢

富良野ロータリークラブは2020年度に創立60周年を迎えます。

26名のチャーターメンバーで発足し、現在48名の会員で活動しておりますが、諸先輩方からの奉仕と親睦の精神を、脈々と受け継いでおります。

年間予定を組み、毎月理事会で検討し、その予定を上は89歳、下は40歳と幅広い年齢層で実践・活動を進めております。

親睦については、家族を含めての野遊会（バスで行く遠足）、クリスマス家族会など、会員家族との懇親を深めるための行事も多くあります。

例会開会時の全員との握手は、会員皆さんの元気な笑顔を見ることが出来てすばらしい！席については毎月委員会ごと、席きめの抽選、自由席と例会ごとに趣向を凝らし、食事の中でも全会員と話す機会を設け、皆が楽しいと思えるクラブであることが一番です。

（幹事　櫻木　裕行 記）

富良野ロータリークラブは昭和36年に旭川ロータリークラブをスポンサーに創立されました。本年度、軽米会長は「つなげよう、つながろう、富良野ロータリアン！」をスローガンに掲げ活動をされております。日頃の例会から出席率が非常に高く、公式訪問時にも多くの会員が出席された中で例会を開催されました。また、クラブ協議会では吉田ガバナーに対して活発な議論が交わされました。例会では恒例のシェイクハンドで皆様と打ち解けやすい環境をつくり、その後の懇親会でも沢山の方と親睦を深める事となりました。

ガバナーエレクト輩出クラブとしての気概も感じられ、積極的な意見交換ができ非常に活気のあるクラブでした。温かく迎えて頂きありがとうございました。貴クラブの今後益々のご隆盛を心よりご祈念申し上げます。

（随行者：2500地区副幹事　村上　祐二 記）

第６分区　帯広北ロータリークラブ

訪問日　2019年7月12日㈮
会　場　ホテル日航ノースランド帯広
　　会長：松原　光一　幹事：荒木　樹

クラブ自慢

帯広北ロータリークラブは，1959年２月23日に設立され、本年創立60周年を迎えた伝統あるクラブです。会員数は７月１日現在67名です。

昨年度は細川吉博ガバナーを送り出し、地区内の各位から多大なご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

出席率がやや低迷していること、女性会員が少ないことが当面の悩みですが、本年度は、パストガバナー年度として，松原光一会長のもと「試行～ちょっとやってみよう」のテーマのもとで、新たな事業にもチャレンジし、少しづつ取り組んで行く所存です。

（幹事　荒木　樹 記）

帯広北ＲＣは昭和34年に創立されました。本年度、松原会長は試しに行うと書いて「試行」をスローガンに、そしてサブテーマに「ちょっと、やってみよう！」と掲げ活動されております。細則を変えるのではなく、ちょっと小さなことをいろいろやってみよう！ という思いが込められているとの事でした。

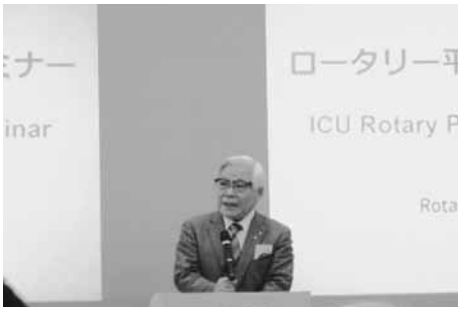
歴史と伝統を誇るクラブとしての力と、若い会員の参加も多く見られ非常に魅力的なクラブと感じさせて頂きました。

反省点として、例会時に会場のモニターとこちらで用意したＰＣとの接続がうまくいかず、吉田ガバナーが使用するパワーポイントの画像が映らず、急遽ホテルのＰＣを使用させて頂きました。土壇場での親切丁寧な対応に感謝申し上げます。お忙しい中沢山の皆様で迎え入れてくださいました事に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（随行者：2500地区副幹事　村上　祐二 記）

2019−20年度
ロータリー平和センターセミナー出席報告

ロータリー平和フェローシップ小委員会
委員長 河 﨑 髙麗男
（旭川モーニングロータリークラブ）



報告を行う 北 誠治 氏

パネルディスカッション

小倉桂子さんの基調講演

プレゼントをするフェローメンバー

6月15日㈯東京都三鷹市ICU国際基督教大学東ヶ崎潔記念ダイアログハウス国際会議場に於いて、2019－20年度ロータリー平和センターセミナーが開催され出席して参りました。

当日は明け方から雨模様で、気温も18度に届くかどうかの肌寒い朝を広大なキャンパスの中、傘を差し、足元を濡らしながら国際会議場を目指して歩く中、雨に濡れた新緑に包まれ本当に身も心も洗われる学び舎に感慨深く多様な人々が集い多様な世界社会で平和の現場に向かう人材養成の場に感動を覚えた素晴らしい環境を体験してきました。

第１部では、ホストエリアコーディネーター補佐の宮崎陽市郎氏の挨拶で始まり、ロータリー平和センターの今後の方向性としてロータリー財団管理委員北清治氏の報告、ロータリー平和センタープログラムの現状と、今後の展望と題してのパネルディスカッションが行われた。

ロータリーは、平和に対してどう学ぶか。ポリオは全地区に委員会が出来てスタートした。

世界の平和プログラムの支援をするために、平和と紛争解決に励む人材の育成支援に平和フェローセンター、ロータリー平和センターの支援が必要であり、周知するために各地区もテーマに取り組み本委員会制度の導入を、平和フェローの支援の取り組み、平和構築・子供を育てる・世界平和を考える時20年～30～50年と先を考えながら目的に向かって進む心構えを持つことか必要だとの意見であった。

第２部では、ICU日比野潤子学長は、本日がICU創立記念の70周年の日に当たりロータリー平和センターセミナーの開催に感無量との挨拶あり、TRF平和センターBryn Styles委員長の挨拶、Prof. Giorgiandrea Shaniの概要説明がありTRF管理委員挨拶、平和のためのヒロシマ通訳者代表で被爆者の小倉桂子さんの基調講演で始まりました。

その後ロータリー平和フェロー９名の16期生と17期生卒業生の平和に関する修士論文の発表（各自20分）が 18：00まで行われた。一部タイトルを紹介します。「国連平和構築のアーキテクチャーにおける人権規範の拡散」「不確実な時代における帰還への摸策―ジンバブエにおける移民の帰還と統合―」「ウガンダのナキバレ難民定住地におけるルワンダ難民の生活難と送還への対応」「スリランカでの平和構築：コミュニテイの発展から見る紛争後の平和構築」その他各世界で平和をテーマとして活躍している素晴らしいらしい論文でした。

すべて英語での発表であったが、同時通訳でよく理解でき、単純に平和というがその視点は多岐に渡り。「平和」という言葉に色々な意味があるものだと感じ、ロータリーの貢献度がこれほど高いのかを知ることが出来る様々なプログラムの中、この平和フェローの意義が私達ロータリーの集大成ではないかと感じた有意義なセミナーでありました。

第３部は16期「ロータリー平和センターセミナー終了を祝う会」では修士プログラム修了証書授与式が行われ、ホストファミリーとの記念写真撮影など和やかな雰囲気であった。

米山奨学生レポート

ロータリーで得られたこと

ゴータム　ユバラズ
（ネパール／稚内南ロータリークラブ：稚内北星大学）

私は稚内北星学園大学のユバラズゴータムです。2018年の４月から米山奨学生になり、約１年間半になりました。この間、奨学金をいただき、研究に集中することができ、とてもうれしく思っており、心から感謝をいたします。また、日本人とコミュニケーションする機会も増えまして、日本の文化や習慣についても知る機会をたくさんいただきました。

私は米山奨学生になり、稚内南ロータリークラブにお世話になっています。私は毎月の例会に参加し、ロータリーのいろいろなイベントにも参加させていただきました。その中、印象深いのは2018年の地区大会でした。スピーチをするのに最初はすごく緊張しましたが、今振り返ってみたら素晴らしい経験だと思っています。自分の日本語、そして自信にもなったと思ったからです。ロータリーの方々とほかの奨学生の皆様に出会って、違う国の文化や、自分たち将来の話などができてとても楽しかったです。また、カウンセラー坂野さんと会社見学や神社のお祭り、大谷高校の花お祭りに参加し、ネパールの宗教についてスピーチする機会をいただき、とてもうれしかったです。稚内南ロータリークラブの皆様はいつもやさしく接していただき、毎月の例会やイベントが楽しく過ごしました。

私のカウンセラーの坂野さんはやさしくて親切な人です。いつも励ましていただき、日本文化や習慣、日本人の生活についてもたくさん教えてくれました。坂野さんは私にとって親のような存在であり、坂野さんがいてくれて本当に幸せだと思います。

これからは大学院進学したいと考えており、IT 技術についてもっと勉強し将来はネパールのITの発展に貢献したいと考えています。もし、ロータリーの奨学生になっていなかったらこのような充実した学生生活が送れないと思います。今までロータリーでお世話になったことを忘れず、これからも稚内南ロータリークラブの方々、坂野さんと連絡し続けたいと約束します。

米山奨学生レポート

卒業後は、日中交流の仕事を!!

過　　歆　宇
（中国／旭川南ロータリークラブ：北海道教育大学（旭川））

あと２ヶ月で大学院を卒業し、米山奨学生として過ごした１年半の時間もあっという間に終ろうとしています。米山奨学生に合格した時の喜びは昨日の事の様に覚えています。

１年半の時間は私にとって、とても貴重な時間でした。初めて旭川南ロータリークラブの例会に参加した時、初めてお会いする方々ばかりなのでとても緊張しましたが、いまでは、時々冗談も言える様になりました。この一年半にたくさんの活動に参加することもできました。昨年の年末、旭川南ロータリークラブの忘年会のビンゴゲームで私は運が良く、大きなとても美味しい毛蟹を当てることが出来ました！私は、カニが大好きなので本当に嬉しかったです。

米山奨学生としてたくさんのイベント活動に参加させて頂く事により沢山の喜びや経験をし、日本文化や風習を深く理解し、自分の視野も広げることができました。さらに、毎回様々な方々との交流を通し、知り合う機会を与えて頂き日本と中国の歴史を深く理解することが出来ました。それはとても大事なことだと思っています。

日本へ留学した目的はもちろん自分の研究を進める事でしたが、学業以外の時間はできるだけ日本と中国の一層の友好を目指し、少しでも貢献したいと思っています。今年、旭川市と友好都市哈爾濱市の視察団が旭川へ来て幅広い分野で活発な交流を行いました。私は通訳として、日中交流のために精いっぱい努力しました。今年卒業してから中国に帰る予定ですが、必ず中国と日本を繋げる仕事に就きたいと思っています。

ロータリー米山記念奨学会の活動に依り忘れられない留学生活を送ることができました。また多くの方々に助けて頂き本当に感謝の気持ちでいっぱいです。もうすぐ米山奨学生も卒業ですが、終わりではなく新しいスタートだと思っています。本当にありがとうございました。

新年会のビンゴゲームでいただいた毛蟹

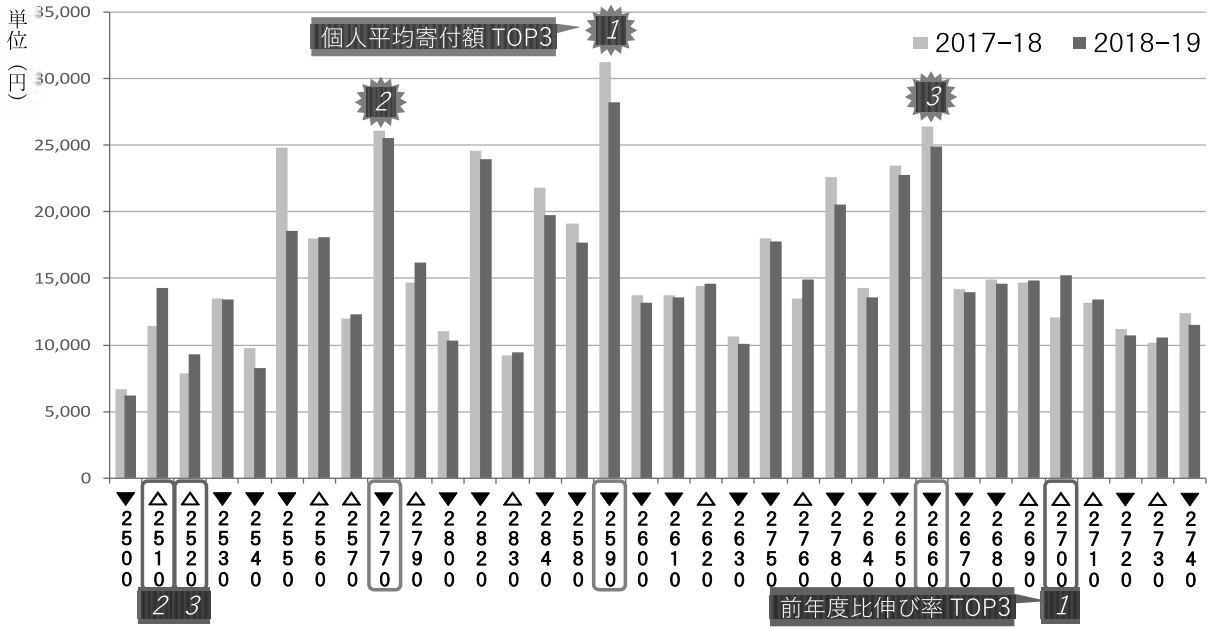
旭川市と哈爾濱市の交流会

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
Vol.232
2019年7月12日
発行

1. 2018-19年度寄付金結果 ―予算達成 14億円超―

2018-19年度の寄付金は約14億1,150万円でした。前年度と比べて1.6%減（普通寄付金:0.6%増、特別寄付金:2.5%減）約2,220万円の減少となりました。当財団設立50周年を迎え多くのご寄付をいただいた前年度から大きく減少することなく、予算額13億5千万円を無事達成することができました。ご寄付をいただきましたロータリアン皆様のご尽力に厚く御礼申し上げます。

2019-20年度も引き続きご協力賜りますようよろしくお願いいたします。



個人平均寄付額 TOP３　全国平均：15,828円

1 第2590地区：28,210円　2 第2770地区：25,553円　3 第2660地区：24,898円

前年度比伸び率 TOP３

1 第2700地区：125.8%　2 第2510地区：124.5%　3 第2520地区：118.6%

2. スリランカ学友会が総会を開催

爆破事件により延期されていたスリランカ米山学友会の総会が6月4日に開催され、8人が参加しました。創立時から会長を務め、昨年8月に急逝したラクナース・ガマゲさん（1993-95／宇部西ＲＣ）のために黙祷を捧げたあと、予算や年次報告書の承認、新役員の選任が行われました。新会長はサマラシンハ,ニシャンタ・ロハンさん（2002-05／飯塚ＲＣ）、副会長はジャヤコディ，ニーラカンティ・サマンサさん（1987-88／神戸ハーバーＲＣ）と、バナゲ・テェンナ・ゲダラ・サマンタ・クマラさん（2013-15／会津若松西ＲＣ）、ほか幹事・会計など8人の役員が決定しました。同学友会では今後、ラクナース前会長の一周忌に合わせて無料医療キャンプを実施したいと計画を練っています。

3. 2019-20 年度地区米山奨学委員長セミナー

2019-20 年度地区米山奨学委員長対象の第 2 回セミナーが 6 月 20 日、都内で開催されました。『米山奨学事業 理解促進のために』と題した今回のセミナーでは、齋藤直美理事長の挨拶、水野功常務理事/選考・学務担当理事からの「委員長へ期待すること」に続いて、埼玉大学人文社会科学研究科教授・国際本部留学生アドバイザーの中本進一先生から「来日する留学生の新しい傾向」の講話と、第 2550 地区米山記念奨学委員長の長正英氏から、同地区での工夫事例を発表いただきました。「大学の視点から見た留学生情報が有益だった」「具体的事例が参考になった」と、いずれも好評でした。

午後は、「奨学生の育成と危機管理」「学友会運営」「寄付増進」「指定校選定と奨学生選考」の 4 つのテーマに分かれて、グループディスカッションが行われました。各地区の課題や事例を共有しながら熱心な議論が続き、全体会議に戻ってからの質疑応答も活発でした。

参加者アンケートでは、「今回も大変勉強になった」「とても有意義なセミナーだった」との声が多かった一方、「個々の内容をもう少し深く聞きたかった」「グループディスカッションの時間をもっと長く取ってほしい」などの要望もいただきました。次回以降のセミナーに生かしてまいります。

4. 『米山梅吉ものがたり』が刊行されました

生誕 150 年/米山梅吉記念館創立 50 周年記念事業の一つとして、今月、『〈日本のロータリークラブ創設者〉米山梅吉ものがたり ～奉仕の心で社会を拓く～』(銀の鈴社) が刊行されました。この本は「ジュニア・ノンフィクション シリーズ」の新刊で、“子ども (小学校高学年) から大人まで、みんなで読める伝記”となっています。しかし、内容はまさに本格派。著者の栗崎由紀氏が数年にわたり緻密な取材を重ね、豊富な写真や解説とともに、人間・米山梅吉の足跡を浮き彫りにしています。

もちろん、ロータリーにおける功績やこれまであまり知られることのなかったエピソードも充実。第 16 章「没後　未来へと引き継がれる精神」では、日本最大規模の民間国際奨学事業として、当会についても紹介されています。

ご購入希望の方は、銀の鈴社オンラインストア http://ginsuzu.shop-pro.jp まで。または、Amazon やお近くの書店でもご注文いただけます。

価格：1,800 円 (税別)

5. 【訃報】評議員 坂本俊雄氏逝去

評議員の坂本俊雄氏 (第 2750 地区) が 6 月 17 日にご逝去されました。享年 85 歳でした。

坂本氏は、2007-08 年度および 2014-15 年度の国際ロータリー第 2750 地区ガバナーを務められ、最初のガバナー、ガバナーエレクトの時の 2 年間 (2006-08 年) に続き、2015 年 9 月から 4 年にわたり、当会評議員としてご奉仕くださいました。そのほか、当会専門委員会の一つ、広報委員会の委員も 2011 年から 3 年間お務めくださいました。

ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈り申し上げます。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary Region 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2019年8月号

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

2019年7月から、第2地域ロータリーコーディネーターを担当することになりましたRID2750、2015-16年度ガバナーの水野功です。どうぞよろしくお願い致します。最初に第2地域のコーディネーター補佐3名の方をご紹介致します。

剱田廣喜氏（RID2630　2016-17年度ガバナー、ニックネームKEN）
神野重行氏（RID2760　2017-18年度ガバナー、ニックネームSHIGE）
松坂順一氏（RID2580　2018-19年度ガバナー、ニックネームJUN）の3名の方々です。

各地区の様々なセミナーやグループでのIMなど、会員増強・維持、クラブ基盤の強化など、幅広いテーマの講師として、出来る限りのサポートをさせていただく所存ですので、お気軽にお声がけをお願い致します。また、各地区での新クラブや衛星クラブの拡大やローターアクトの活躍などの情報を共有させていただきたく存じます。日本事務局とも十分に連携して、これらの情報発信を強化したいと思います。

些か、旧聞になりますが、3月の地域リーダー研修では、マローニー会長から「共につながり、共に成長しよう」との力強いメッセージが出され、同時に地区会員増強委員長宛てにと、「GROW」と書かれたブルーのバッジを手渡され、各地区のガバナーと地区会員増強委員長にお届けしました。セミナーでは是非、ご着用いただきたくお願い致します。

さて、8月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。時代にあったクラブの拡大は各地区の会員増強にとって大変、実効性の高いものと考えます。2016年の規定審議会において、クラブの自由裁量権の拡大や柔軟性が認められましたが、多くの既存のクラブにとって、永年の慣行を変えるには多大な労力が必要であり、コンセンサスを取るのが難しいことが多いように感じています。例会時間や昼食の選択性など若い世代が入会しやすいクラブが必要と感じています。

クラブ拡大は、各地区の戦略計画に沿って、ガバナー、エレクト、ノミニーが連携して、計画を立てる必要があります。単年度では難しいと考えます。マローニー会長は、既存のクラブが存在する地域にあっても、時代に合った新クラブの創設が必要であると強調されています。是非、クラブ拡大や衛星クラブの創設を考慮いただきたいと思います。

また、「ロータリーの友」11月号に100周年実行委員会が実施したアンケート結果が掲載されましたが、その中で最も印象的であったのは、各クラブとも会員増強・維持あるいはクラブ運営の問題意識は高いが、どのクラブもリーダーシップが課題であると指摘されていたことです。同年8月号に、会員増強の成功例として大宮西RCの取り組みが掲載されていますが、強力なリーダーシップが会員増強には何より不可欠である具体例が示されています。各地区・クラブに置かれては会長、会員増強委員長が強いリーダーシップを発揮され、実り多き年度となりますことを期待しております。

第2地域ロータリーコーディネーター　水野　功

ロータリーファミリー全員によるファンドレイジング　－『ワールド・フード＋ふれ愛フェスタ』(WFF)

当地区では毎年名古屋市中心部の公園でファンドレイジングのイベントを開催しています。第6回は昨年10月27日と28日の2日間。好天に恵まれ、約7万人の来場者で盛り上がる中、協賛チケット、広告協賛、会場での寄付金などすべて前年度を上回り過去最高を記録しました。収益金は毎回ポリオ根絶への寄付とアジアの子供たちへの支援事業に使われており、今回はポリオ根絶基金への寄付（2万ドル）に加えパキスタンでの教育支援（3万ドル）を行いました。

地区内のロータリアンのほかインターアクター、ローターアクターや米山奨学生をはじめすべてのロータリーファミリー全員が協力するお祭りで、会場内に多数仕込まれた「あと少し」の広報パネルとともに「ロータリーの認知度＆公共イメージの向上」という大きな役割も果たしています。

特に昨年は『ポリオ根絶大使』のジュディ・オングさんにもご参加いただいてポリオ根絶活動について熱弁を振るっていただくとともに募金活動に参加いただきました。またジュディさんを招いてのチャリティディナー『エンドポリオ・ナイト』ではパキスタン、フィリピン、インドネシアから集まったロータリアンたちを含め200名を超える出席者たちから多額の寄付が集まりました。

収益金で寄贈したRotary Mobile Library Unitには図書やタブレット、LEDスクリーンの他、ポリオワクチンの保冷庫も装備されており、遠隔地での教育支援とポリオ根絶の2つの役割を担っています。5月に当地区からの有志6名がパキスタンを訪れ、4台を寄贈してきましたが、必死にポリオ根絶や人道的支援活動に取り組む現地ロータリアンたちの熱い姿と温かいもてなしに感動したそうです。

ポリオ根絶まで『あと少し』。当地区では今年度もWFFの収益金でポリオ根絶基金への寄付とパキスタンでの教育支援事業を行います。そしてWFFを通してロータリーの認知度＆公共イメージの向上をめざします。

第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　加藤　陽一

新入会員の紹介

●第２分区
〔士別ロータリークラブ〕
井口裕史（いぐちひろふみ）
●旅客運送
●昭和33年2月20日生
●令和1年7月1日入会

●第２分区
〔士別ロータリークラブ〕
山崎貴弘（やまざきたかひろ）
●自動車小売業
●昭和49年11月30日生
●令和1年7月1日入会

●第２分区
〔名寄ロータリークラブ〕
水間健詞（みずまけんじ）
●農業
●昭和43年1月21日生
●令和1年7月16日入会

●第２分区
〔名寄ロータリークラブ〕
山田康彦（やまだやすひこ）
●料理店
●昭和51年4月9日生
●令和1年7月16日入会

●第２分区
〔名寄ロータリークラブ〕
山田善太（やまだぜんた）
●生命保険
●昭和62年2月22日生
●令和1年7月19日入会

●第３分区
〔美瑛ロータリークラブ〕
嵯城和彦（さじょうかずひこ）
●労働団体
●昭和37年4月2日生
●令和1年7月1日入会

●第３分区
〔美瑛ロータリークラブ〕
濱塚努（はまつかつとむ）
●土木工事
●昭和40年9月29日生
●令和1年7月1日入会

●第４分区
〔滝上ロータリークラブ〕
吉田忍（よしだしのぶ）
●金融
●昭和38年8月8日生
●令和1年7月1日入会

●第４分区
〔滝上ロータリークラブ〕
秋山範彦（あきやまのりひこ）
●電気工事
●昭和36年2月28日生
●令和1年7月1日入会

●第４分区
〔滝上ロータリークラブ〕
米谷淑子（よねやよしこ）
●地方議員
●昭和25年1月12日生
●令和1年7月1日入会

●第４分区
〔紋別港ロータリークラブ〕
畠山元生（はたけやまゆきお）
●自動車販売
●昭和46年12月22日生
●令和1年7月2日入会

●第５分区
〔斜里ロータリークラブ〕
中田尊徳（なかたたかのり）
●土木
●昭和46年10月7日生
●令和1年6月26日入会

●第５分区
〔斜里ロータリークラブ〕
田中啓二（たなかけいじ）
●米穀販売
●昭和45年5月12日生
●令和1年6月26日入会

●第５分区
〔斜里ロータリークラブ〕
樽見憲人（たるみのりひと）
●郵便事業
●昭和51年8月13日生
●令和1年6月26日入会

●第５分区
〔北見東ロータリークラブ〕
佐藤雅人（さとうまさと）
●生命保険
●昭和46年7月24日生
●令和1年7月1日入会

●第５分区
〔留辺蘂ロータリークラブ〕
岡田祐一（おかだゆういち）
●畜産業、酪農ペルパー
●昭和47年10月5日生
●令和1年7月2日入会

●第５分区
〔北見ロータリークラブ〕
川嶋信義（かわしまのぶよし）
●新聞業
●昭和33年11月19日生
●令和1年7月3日入会

●第５分区
〔北見ロータリークラブ〕
西永和明（にしながかずあき）
●電信電話事業
●昭和43年8月31日生
●令和1年7月3日入会

●第５分区
〔網走西ロータリークラブ〕
配島淳（はいじまあつし）
●博物館
●昭和35年8月23日生
●令和1年7月4日入会

●第５分区
〔網走西ロータリークラブ〕
天野悟志（あまのさとし）
●郵便事業
●昭和48年12月16日生
●令和1年7月4日入会

●第５分区
〔北見ロータリークラブ〕
川上明人（かわかみあきひと）
●全国放送
●昭和37年12月23日生
●令和1年7月10日入会

●第６分区
〔足寄ロータリークラブ〕
二川靖（ふたかわやすし）
●環境美化事業
●昭和32年12月11日生
●令和1年7月1日入会

●第６分区
〔帯広北ロータリークラブ〕
武市聖（たけいちきよし）
●放送事業
●昭和33年8月26日生
●令和1年7月5日入会

●第６分区
〔帯広北ロータリークラブ〕
土田拓（つちだひろし）
●電力供給
●昭和37年3月31日生
●令和1年7月5日入会

●第６分区
〔帯広北ロータリークラブ〕
高田義久（たかだよしひさ）
●婦人服販売
●昭和44年6月15日生
●令和1年7月5日入会

●第６分区
〔帯広東ロータリークラブ〕
木幡裕之（こはたひろゆき）
●飲食業
●昭和37年9月6日生
●令和1年7月16日入会

●第７分区
〔釧路東ロータリークラブ〕
工藤邦夫（くどうくにお）
●管設備
●昭和41年1月24日生
●令和1年7月1日入会

●第７分区
〔釧路東ロータリークラブ〕
早川智也（はやかわともや）
●仮設機材総合リース
●昭和56年12月8日生
●令和1年7月1日入会

●第８分区
〔弟子屈ロータリークラブ〕
山村聡（やまむらさとし）
●特定建設業
●昭和46年9月12日生
●令和1年7月3日入会

●第８分区
〔弟子屈ロータリークラブ〕
望月信雄（もちづきのぶお）
●農業協同組合
●昭和27年7月5日生
●令和1年7月3日入会

●第８分区
〔弟子屈ロータリークラブ〕
新井秀樹（あらいひでき）
●リゾートホテル
●昭和49年10月19日生
●令和1年7月3日入会

ロータリー財団寄付者

分区	寄付の種類	氏名　ふりがな	クラブ名	寄付月日
7	ＰＨＦ	松井聖治（まついせいじ）	釧路	2019年7月8日

物故会員

■第５分区　北見東ロータリークラブ

番場敏行（ばんばとしゆき）
外科医

Ｓ53年１月　入会
Ｓ56年　国際奉仕委員長
Ｓ59年　職業奉仕委員長
Ｈ４年　会長エレクト
Ｈ５年　会長

令和元年７月10日逝去
（85歳）

2019～2020年度　国際ロータリー 第2500地区

Rotary 地区大会・くしろ

2019年 10月11日(金)・12日(土)

海の幸 くしろで お待ちしております。

ホストクラブ 釧路ロータリークラブ

大会実行委員長 青田 敏治

Rotary

http://rid2500.jp

■ガバナー事務所

〒085-0016　北海道釧路市錦町５丁目３
三ツ輪ビル２Ｆ
TEL 0154-61-0018　FAX 0154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

■GOVERNOR OFFICE

MITSUWA BLDG.2F　5-3 Nishiki-cho,Kushiro-shi,
Hokkaido,085-0016, Japan
TEL +81-154-61-0018　FAX +81-154-61-0017
E-mail:rid2500-kushiro@orion.ocn.ne.jp

釧路川にかかる幣舞橋周辺

国際ロータリー第 2500 地区
２０１９▶２０２０　ガバナー

吉　田　潤　司